
岡山大学の理念・目的・目標

1. 岡山大学の理念

“高度な知の創成と的確な知の継承”

人類社会を安定的、持続的に進展させるためには、常に新たな知識基盤を構築していかなばなりません。岡山大学は、公的な知の府として、高度な知の創成と的確な知の継承を通じて人類社会の発展に貢献します。

2. 岡山大学の目的

“人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築”

岡山大学は、「自然と人間の共生」に関わる、環境、エネルギー、食料、経済、保健、安全、教育等々の困難な諸課題に対し、既存の知的体系を発展させた新たな発想の展開により問題解決に当たるという、人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築を大学の目的とします。

このため、我が国有数の総合大学の特色を活かし、既存の学問領域を融合した総合大学院制を基盤にして、高度な研究とその研究成果に基づく充実した教育を実施します。

3. 岡山大学の目標（抜粋）

（1）教育の基本的目標

岡山大学は、大学が要請される最重要な使命である教育活動を充実させます。

これまでの高度な研究活動の成果を基礎として、学生が主体的に“知の創成”に参画し得る能力を涵養するとともに、学生同士や教職員との密接な対話や議論を通じて、個々人が豊かな人間性を醸成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍し得る高い総合的能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。

（2）研究の基本的目標

岡山大学におけるあらゆる活動の源泉は、先進的かつ高度な研究の推進にあります。

常に世界最高水準の研究成果を生み出すことをその主題とし、国際的に上位の研究機関となるよう指向します。

経済学部教育の方針，卒業認定・学位授与の方針（D P）

1. 教育の方針

教育の基本的目標

経済学部は、経済学・経営学・会計学の幅広い知識と深い専門的な能力を育成するとともに、学生同士や教職員および地域社会との密接な対話や議論を通じて、社会や経済が直面する課題を早期に発見し解決するための能力を涵養します。それぞれの学生の個性に応じた豊かな人間性を熟成できるように支援し、国内外の幅広い分野において中核的に活躍しうる能力と人格を備えた人材の育成を目的とした教育を行います。経済学・経営学・会計学に関する専門的な学術知識を教授するとともに自ら研究することを促し、現在および将来の社会的要請に応えうる人材を育成することを目的とする。

養成する人材像

教育の基本的目標に掲げられた、「経済学・経営学・会計学の幅広い知識と深い専門的な能力」を専門力、「社会や経済が直面する課題を早期に発見し解決」を探究力および実践力、「学生同士や教職員および地域社会との密接な対話や議論」をコミュニケーション力、「豊かな人間性」を教養力としてそれぞれ捉え、国内外の幅広い分野において中核的に活躍しうる能力と人格を備えた人材を養成します。

高度な専門性を背景とした冷静な分析力と社会問題への深い理解を兼ね備えた探究者

以下、5つの力を持つ人材を養成します。

- 課題の解決に向けて、意欲的・積極的に取り組む実践力
- 社会や経済の本質を理解し、課題を見出す探究力
- 他者を尊重し協働するコミュニケーション力
- 経済学・経営学・会計学の知識に基づく専門力
- 幅広い学びから柔軟な思考を導く教養力

2. 卒業認定・学位授与の方針（DP）

経済学部は、先に掲げた人材を養成するため、所定の期間在学し、以下に掲げる力を身につけ、所定の単位を修得した学生に学位を授与します。

3. 修得できる力：実践力・探究力・コミュニケーション力・専門力・教養力

【実践力】課題の解決に向けて、意欲的・積極的に取り組む実践力

直面する課題の解決に向けて、自ら意欲的・積極的に行動することができる。

【探究力】社会や経済の本質を理解し、課題を見出す探究力

冷静に物事の本質を理解し、何が問題なのかを明らかにすることができる。

【コミュニケーション力】他者を尊重し協働するコミュニケーション力

他者の意見や多様性を理解して尊重し、協働することができる。

【専門力】経済学・経営学・会計学の知識に基づく専門力

経済学・経営学・会計学の専門的知識と分析力を活用することができる。

【教養力】幅広い学びから柔軟な思考を導く教養力

幅広く学ぶことで自らの好奇心を刺激し、柔軟な思考力を持つことができる